

# 大塩天満宮略記

御祭神：菅原道真公（配祀 天穗日命・大己貴命）  
 創建：寛弘年間（第六十七代三条天皇の御代）  
 御由緒

延喜元年（九〇一）道真公は冤罪を蒙り太宰府へ左遷される途次、伊保の湊より上陸され当地東方の日笠山に上られ、瀬戸の内海を賞でられ遙か東の京都の方を、又これより行かん九州の方を望まれて昨日に変わる今日の境遇に感慨を新たにされた。

その後、牛谷の普光寺（現在の妙泉寺）に霊鏡を奉納され、当地の氏神たる天神山麓の菅公の遠祖になる天穗日命と出雲系の大己貴命を祀る伊屋明神に詣り前途の安泰を祈願された。

延喜三年、菅公太宰府に薨じ給うと聞き、里人等深く哀愁に閉ざされ且つ又其の徳を慕いて、菅公の祖神を祀る伊屋明神に其の霊を奉祀したのが当天満宮のはじまりで、約一千年前の寛弘年間の事と伝えられる。

鎌倉・吉野朝時代までは伊屋明神として国内神明帳に記載され、その後天文二年（一五三三）当地の城主大塩次郎景範は、南方の海岸近くに人家の密集せるにまり諸人の参拝の便を考え、天神山麓より大塩町字宮本の旧社殿地に壮麗なる神殿を営みて、菅公の学識・誠心の徳を景仰し菅公を主神に在来の神は配祀の形にて天満宮と称す。

平成十年九月十九日に都市計画道路のため現在地に移転。

## 境内神社

### 伊勢神社

（中央殿）天照皇大神：伊勢神宮内宮

（右殿）八幡大神：応神天皇・神功皇后  
 玉依姫命

（左殿）春日大神：天兒屋根命

○この社は伊勢神宮第六十一回式年遷宮撤却古材で建立されています。

### 豊受神社

（中央殿）豊受大神：伊勢神宮外宮

（右殿）恵美酒大神：事代主命

（左殿）熊野大神：進雄命

### 塩竈神社

（御祭神）味耜高彥根神・塩土爺神

（配祀）住吉大神

○当地の産業であった製塩業の守護神として、奥州塩竈神社より分霊し祀る。

### 稲荷神社

（御祭神）宇迦之御魂神

○中之丁の守護神として伏見稲荷大社より分霊し祀る。

### 愛宕神社

（御祭神）迦具土神

○宮本丁の守護神として京都の愛宕神社より分霊し祀る。

### 社号額

○内拝殿の正面に掲げられている。「天満宮」と書かれた額は、明治三十年八月に山階宮親土殿下（八十二歳）が書かれたものです。



●社号額

### 境内建物配置図



## 年中行事

- 1月1日 歳旦祭・大護摩祈願祭
- 1月15日 とんど祭・初謡曲
- 1月25日 初天神祭
- 2月3日 節分祭・星祭
- 3月25日 春季例大祭・献華式
- 6月30日 大祓・輪抜祭
- 7月25日 夏祭（天神祭）
- 10月14日 秋季例大祭
- 10月15日 〃
- 10月24日 神立祭（いづもまいり）
- 11月15日 七五三祭
- 12月25日 終天神祭
- 12月31日 大祓・除夜祭  
 臨時祭（十一年毎）国恩祭



●神門



●随神 左大臣



●随神 右大臣



●御神座